タウンネットワーク
風見利男（日本共産党港区議会議員）
区政とあなたを結ぶ
103

バスの運行、「都市再生」、住基ネット、福祉施設、学校

一刻も早く対応を　区長・教育長に　緊急要望書を提出

7月12日　日本共産党港区議団

原田区長（正面左）、入戸野教育長（左端）にたいし緊急要望をおこなう風見区議（正面右）と党区議団＝7月12日、港区役所内

党区議団は七月十二日、原田敬美区長、入戸野光政教育長に「緊急要望書」を提出しました。**（内容は別項）**

この要望は、日本共産党港地区委員会・区議団が行っている『港区民アンケート』や、党区議団がおこなった全区立小・中学校訪問で学校関係者から出された要望などに基づくもので、いずれも緊急を要する問題です。風見利男党区議団長は、それぞれの項目について切実さを強調、ただちに実施するよう求めました。

これにたいし七月三一日に、次のような回答書が届きました。**（要旨）**

7月31日に区長・教育長から回答書

①【バスの運行】区有施設や調査協力が得られた病院などでアンケートを実施し、区民の交通ニーズを的確に把握していく。②【「都市再生」】地域特性に配慮し、住民の意向の把握を行い、住環境の確保に努める。区アセスを適切に運用するとともに、より良い制度に向けて継続的に検討する。③【住基ネット】凍結の要請は考えていない。④【都福祉施設】将来的な影響を考慮し、必要があれば都に申し入れる。⑤【学校】平成15年度からの選択制の円滑な実施に努める。冷房の設置については整備計画を検討する。早急な耐震補強工事の実施に努める。ヒビ等は必要な点検・補修を進める。校庭の実態を調査し適切に処理する。防犯対策は運用マニュアルの充実や防犯カメラの設置を含めて取り組む。

【緊急要望書の内容】（要旨）

①、都バス路線の復活、コミュニティーバスの運行にむけての区民意識　調査は、調査会社の調査にとどまらず区独自にも区民の声を聞くこと。

②、都市再生特別措置法にもとづく区内の「緊急整備地域」の指定は、一層の住環境悪化をもたらす。国の指定にとらわれず、「住み続けら　れる港区」の立場を貫くこと。区アセス要綱の改正、厳格な適用を。

③、住民基本台帳システムの8月5日実施の凍結を国に要請すること。

④、東京都にたいし、福祉施設の民間委託や廃止、民間福祉施設への補助削減をおこなわないよう申し入れること。

⑤、学校選択制の来年4月実施は白紙に戻すこと。すべての教室への冷房設置を急ぐこと。耐震補強工事を大至急おこなうこと。壁のヒビ割

「都市再生」の名で一層の規制緩和

これ以上の超高層ビル。マンションはゴメン

南青山１丁目の超高層ビル（160m）完成予想図

先の国会で「都市再生特別措置法」と「都市再開発法改正」が、自民・公明など与党と民主党の賛成で成立しました。

これらの法律は、再開発などの事業を行うゼネコンや大企業に破格の優遇措置を講じるためのものです。この法律に基づいて政令で指定された「緊急整備地域」では、既存の土地規制（建物の用途や高さなど）をすべてはずし、民間事業者が自由に都市計画を行うことができるようになります。

「新橋・虎の門・赤坂・六本木等」地域、「台場」地域などが「緊急整備地域」に指定されました。原田区長は「都市再生」推進の立場です。昨年八月に都心五区長の連名で「都心再生に向けての提言」なる申入れを行いました。その内容は、国一律規制の見直し、開発特区制度の創設、容積率移転制度の拡充等々で、巨大ビル建設を野放図に推し進めようとするものです。

これに歩調をあわせて、東京都は環境アセスの大幅緩和を決めてしまいました。

「都市再生緊急整備地域」の目玉としているのが、南青山一丁目の都営住宅の建て替え計画です（上図）。民間企業に事業計画の提案をさせ、事業予定者（優先交渉権者）に決まったのが三井不動産、大成建設、伊藤忠商事など六社のグループです。

計画されている建物は、二棟（四十六階建、十四階建）で最高高さが百六十メートルという超高層ビルです。区内ではこれより高いビルは汐留開発、品川駅東口開発、六六開発だけです。都市再生の名で東京都がこんな超高層ビルを建てれば、

南青山一丁目の都営住宅建て替えが第一号

公共が超高層ビル建設で環境破壊すすめる

民間への歯止めがなくなり、区内全域に超高層ビルが林立する、区民の住めないまちになってしまいます。

今こそ、「港区に住み続けたい」、「住環境を守りたい」、「住民参加のまち作りをすすめたい」と願っているみなさんが力をあわせてゆくことが必要です。

なんでも相談会　☆毎月第３月曜日　午後６時３０分より　☆事前にご連絡いただけると幸いです。
☆青山福祉会館　２階講習室Ａを予定　☆連絡先…風見宅℡3405-9294　控室℡3578-2945

学校選択希望制に疑問・不安

四月実施は白紙に戻し、保護者や学校関係者の声を聞くべき

「通学の安全性は？」「統廃合が心配」

「学校選択希望制」については、「通学の安全性はどうなのか」、「地域とのかかわりが保てなくなる」、「大規模校はいっそう大規模に、小規模校はさらに小規模になり、統廃合が心配」等々、保護者や関係者の不安の声が多く出されています。ＰＴＡ代表の説明会でも「来年実施ではなく、他のＰＴＡの意見を広く聞いてほしい」という要望がだされています。しかし教育委員会は、そうした声に応えないまま「来年四月からの実施」を決定してしまいました。風見区議は六月議会の代表質問で「区民や現場の声を聞かずに決定し強引に押しつけるやり方はやめ、来年四月実施は白紙に戻すべき」と教育委員長に迫りました。

教育委員長は「保護者への周知など可能な限り努めてきた。今後実施に際し、十分な説明と理解を得るよう事務局に指示している」と、説明が不十分なまま決定したことを認める答弁をしました。

保護者の質問に「決まっていない」「わからない」

七月十五日から十八日に十一カ所で行われた「保護者説明会」でも、「制度を変えるときには、住んでいる人たちの意見を聞いてから十分検討した上できめるべき」、「検討する前に意見を聞くのは当たり前、（決まったことを説明するというのは）お上の発想」など厳しい意見がだされています。また、様々な疑問がだされましたが、「決まっていない」、「わからない」、「決まり次第お知らせしたい」等々、拙速にきめたことが露呈しました。

党区議団は、教育委員会が民主主義と相いれない押しつけを行うことはやめ、保護者、学校関係者や児童・生徒の意見を十分反映することを求めて引き続きがんばっていきます。みなさんのご意見をお聞かせください。

銭湯から発信するホットな生活情報誌

『１０１０（せんとう）』が街で静かな話題に

生活情報誌「１０１０」（「銭湯」・せんとう）は、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合が発行し、１９９３年４月創刊。毎年偶数月の上旬に発行し、今年の８月１０日号で５７号となります。「銭湯のよさが分かり、生活と健康に役立つ」と好評で街の話題にもなっています。当初は都内の公衆浴場でしか置いてありませんでしたが、現在は港区役所保健福祉管理課、都営地下鉄三田線、大江戸線、浅草線、新宿線の各駅などでも置いてあり無料です。「１０１０」は東京都浴場組合のホームページ（http://www.1010.or.jp）でバックナンバーの記事も読めます。

港区の公衆浴場は減少の一途です。党区議団は、浴場をこれ以上減らさないため、港区の支援を強化するよう要求しています。

保育園待機児童解消は緊急課題

区立保育園の増設、保育内容の充実を

六月定例会で「港区の保育水準守り、拡充求める請願」を審議

昨年十一月に千名を超える賛同署名とともに港区保育問題協議会から提出された「港区の保育水準を守り、拡充を求める請願」が六月の定例区議会で審議されました。

党区議団は、①待機児童（六月一日現在百三十九名）を区はどう解消するのか、②無認可を含め区内すべての保育所の実態を把握すべきではないか、③港区保健福祉基礎調査では認可外保育を利用している保護者の三割以上が認可保育所利用を望んでいるが、理由を調査しているか、④廃園にした区立みたて保育園の復活が必要、いつでも使用できるよう都と協議を、⑤育児休業が最長三年までとれることになり、対象児童（在園児）が一歳を超えて育児休業をとる場合、在園児は退園となる、機械的に扱うべきでない、⑥保育園運営費が年々削られ行事など保育内容に影響がでている、予算は削減すべきでない、と質問しました。

「定員緩和、認証保育所で対応する」（港区）

区の担当者は①定員緩和、認証保育所などで対応していく、②利用料を調べている、保育内容を都が指導指針・要項に基づいて調べている、その情報も含め把握していきたい、③調査してないが認可保育園の方が保育基準のレベルが高いという点もあると思う、④地域の動向を踏まえ使用できるよう都には申し入れた、⑤一律にはしないことを徹底する、⑥保育園運営費を減らさないように努力する、と答弁しました。

現在の区の対応は保育水準の低下招く。区立保育園の増設を。

党区議団は、待機児童の解消は急務、区の対応は根本的な解決にならず、保育水準の低下を招く、「みたて保育園」の復活、学校跡地などを利用した区立保育園の設置を急ぐべきであり、子どもの立場で保育の充実を図るべきだと採択を主張しましたが、自民、公明など共産党以外の他党が多数で継続にしました。

党区議団は引き続き区立保育園の増設、保育内容の充実のためにみなさんとともにがんばります。

いのち、愛、平和をうたいつづけて…

コスモスコーラス（港新婦人）２０周年

新日本婦人の会港支部の会員等で組織する「コスモスコーラス」の二十周年記念コンサート『コスモスの季節』が七月六日、高輪区民センターの大ホールで開かれ超満員の盛況でした。

「あの鐘を鳴らすのはあなた」「わらべうたメドレー」「さとうきび畑」等二十一曲の演奏に、そのつど客席から大きな拍手と喚声があり、温かさが伝わってくる集いでした。

風見区議を支えてがんばっている風見喜美子さんは、コスモスコーラスの結成以来の会員です。この日も元気な歌声を聞かせてくれました。